

## テーマ

さおばかりで重さをはかろう！

## 概要

さおばかりを使って、文房具の重さをはかり、さおばかりの使い方を学習します。

## 準備物

丸い木の棒、プラスチックコップ、たこ糸、ゼムクリップ、千枚通し、スティックのり、セロハンテープ、はさみ、ものさし、電子ばかり、乾電池（単三型）、1円硬貨、10円硬貨、筆記用具

## 実験手順

- 

透明プラスチックコップの左右2ヶ所に、それぞれ3cmの間隔を空けて印を付けます。
- 

千枚通しで、印の位置に穴を開けます。
- 

コップの穴に、60cmに切ったたこ糸を通し、コップをつり下げられるようにします。
- 

ゼムクリップを伸ばして、S字形にします。
- 

丸棒の端、1cmのところクリップの幅が大きい方をかけ、セロハンテープで固定します。
- 

コップの糸にクリップをかけ、セロハンテープで固定します。

7 30cmに切ったたこ糸2本を、輪にします。



8 たこ糸の1本を丸棒にかけて持ち、丸棒がつり合う位置を探します。



9 丸棒がつり合う位置で、棒とたこ糸をセロハンテープで固定します。



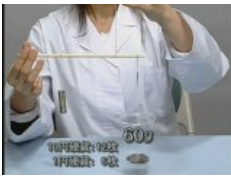
10 もう1本のたこ糸を単三形乾電池にかけ、セロハンテープで固定し、おもりをつくります。



11 1円硬貨と10円硬貨1枚の重さをそれぞれはかります。



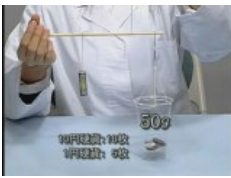
12 コップに60gのおもりとして、10円硬貨12枚と1円硬貨6枚を入れ、棒が支えている反対側に乾電池をつりさげて、つり合う位置を探します。



13 つり合う位置に、印をつけます。





14 コップから10gとなる10円硬貨2枚と1円硬貨1枚をとり、つり合う位置に印をつけます。





15 同じように、硬貨を21円ずつ減らして、それぞれつり合う位置に印をつけていきます。



- 16  コップにはさみを入れ、おもりを左右に移動させてつり合わせます。
- 

- 17  つり合ったときの目盛りの1の位は目分量で読むと、約40gであることがわかります。
- 

- 18  同じようにして、のりの重さをはかると約20gであることがわかります。
- 

- 19  定規は約10g、鉛筆は約5gになります。
- 

#### 製作・著作

株式会社ワオ・コーポレーション

#### 監修

滝川洋二（NPO法人ガリレオ工房理事長）

#### リリース年

2012年